

放射線安全と医学応用のための計測研究会

日程： 2024年2月29日および3月1日

場所： 北海道大学 札幌キャンパス 工学部 B31 講義室

主催： 放射線安全と医学応用のための計測研究会ワーキンググループ

共催： 北海道大学・原子力安全先端研究・教育センター

特別セッションの発表時間： 発表 35 分間，質疑 10 分間 (1 件当たり)

セッション 1~3 の発表時間： 発表 15 分間，質疑 5 分間 (1 件当たり)

2月29日

14:00 ~ 14:05 開会

14:05 ~ 14:50 特別セッション 1

座長：高田 真志 (防衛大学校)

(S1) 『北海道大学における原子力・放射線に関する最近の教育活動』

中島 宏 (北海道大学大学院工学研究院)

14:50 ~ 15:05 休憩

15:05 ~ 17:20 セッション 1

座長：遠藤 暁 (広島大学大学院)

(1-1) 『中性子ビームの高精度な絶対照射量の評価に関する研究』

原田 恭介 (防衛大学校)

(1-2) 『モンテカルロ法と removal-diffusion 方程式を組み合わせた線量計算アルゴリズムの実験的検証』

野尻 摩依 (京都大学大学院工学研究科)

(1-3) 『カスケード γ 線同時計測法の有効性の検討』

宮本 健吾 (広島大学大学院)

休憩

(1-4) 『BNCT 照射場における生物学的効果比 (RBE) 評価のためのホウ素分布を用いたマイクロドジメトリに基づく評価法の開発』

山崎 隆介 (京都大学)

(1-5) 『ホウ素中性子捕捉療法中性子ビームの深度分布の迅速な計測評価の開発』

上村 晃生 (防衛大学校)

(1-6) 『加速器 BNCT システムに適応可能な新しい中性子周辺線量サーベイメータの開発』

ZHAO LIANG (京都大学大学院工学研究科)

3月1日

9:00 ~ 9:45 特別セッション2 座長: 高田 真志 (防衛大学校)
(S2) 『BNCTのための小型の電子LINACに基づくビーム成形装置の実現可能性の検討』
平賀 富士夫 (北海道大学大学院工学研究院)

9:45 ~ 10:00 休憩

10:00 ~ 11:55 セッション2 座長: 鎌田 創 (海上技術安全研究所)
(2-1) 『加速器型BNCTシステムの紹介と計測』
鈴木 俊介 (湘南鎌倉総合病院医学物理室)
(2-2) 『中性子用電離箱の開発と試作』
松本 哲郎 (産業技術総合研究所)
(2-3) 『大強度中性子用ボナー球スペクトロメーターの開発』
増田 明彦 (産業技術総合研究所)
休憩
(2-4) 『マイクロドジメトリ手法を用いたBNCT中性子線源の線質評価』
呼 尚徳 (大阪医科薬科大学関西BNCT共同医療センター)
(2-5) 『BNCTにおけるアクリルフantom中の中性子・ガンマ線測定手法の検討』
松林 錦 (京都大学複合原子力科学研究所)

11:55 ~ 13:25 昼休憩

13:25 ~ 15:20 セッション3 座長: 田中 浩基 (京都大学大学院)
(3-1) 『海技研での廃炉研究』
鎌田 創 (海上技術安全研究所)
(3-2) 『放射線治療における第三者評価と新しい評価方法の開発』
中尾 稔 (広島がん高精度放射線治療センター)
(3-3) 『iBNCTにおける加速器中性子源のリアルタイムビームモニタリング手法の開発』
大谷内 将至 (防衛大学校)
休憩
(3-4) 『広島市沿岸で採取された原爆由来と思われる溶融粒子の分析』
赤時 僚伽 (広島大学大学院)
(3-5) 『宇宙放射線計測』
高田 真志 (防衛大学校)

15:20 ~ 15:25 閉会